

-キャンプ・イベント実施における新型コロナウイルス感染症予防対策について-

キャンプ・イベントの実施にあたっては、以下の対策を行いながら運営いたします。

本予防対策について、事前にスタッフ全員に周知を図り、共通認識を持って運営にあたる体制を整えます。

1. スタッフ、参加者の参加条件を以下の通り定めます。

- ① 開催日を含む直前3日間に平熱であり体調もすぐれている。
- ② 新型コロナウイルス感染症への感染疑いがある人との濃厚接触をしていない。
- ③ その他の体調不良がない。

上記を満たさないことが判明した場合、スタッフは担当中止、参加者は参加をお断りすることがございます。

2. 活動中の感染防止対策を以下の通り定めます。

- ① 活動中は消毒液を常備・携行し、適宜使用します。参加者の方にも消毒を行っていただきます。
 - ・ 使用場面の例：公共交通機関利用時や施設へ入る時、公共物に触れた後、食事や配膳の前、トイレの後など
- ② キャンプ・イベント実施中はマスク着用を推奨します
 - ＜着用を特に推奨する場面＞
 - 集合解散
 - 相互の距離を保てない空間や場面において会話や活動を行う場面
 - 不特定多数の方と接する可能性のある場面
 - ＜着用を特に求めない場面＞
 - 食事、入浴、洗面等の生活を送る上で外すことが必要な場面
 - 屋外の運動を伴う活動中など、マスクが活動の妨げとなり、熱中症や呼吸の妨げ等の危険が予見される場面
- ③ 3密の回避に配慮します。
 - ・ 参加者は、不特定多数が集まる環境や、スタッフ以外の人との接触を極力避けて行動します。ただし、参加時に症状がないことを確認しているため、スタッフ及び参加者相互が必要に迫られて接触することを感染防止の観点から妨げることはしません。（近づく、肩を叩く、物を手渡すなど）
 - ・ 食事時は座席間隔等に配慮する等の方法により感染防止に配慮します。
 - ・ 受付時や活動中の集合時には、相互の距離が近づきすぎないように配慮します。
 - ・ 密閉を避け、室内では窓を開けるなどの換気を行います。
 - ・ 書類や情報のやり取りにおける接触を極力減らし、必要な連絡を可能な限りデジタルデータによって行うことを原則とします。
- ④ 使用場所、備品の管理に配慮します。
 - ・ 共同で使用する場所、備品は、都度アルコール消毒を行い管理します。

3. 万が一、活動中に発症者が発生した場合のマニュアルを整備します。（活動中、スタッフが携行）

[「自然体験活動・自然教育・野外教育・環境教育を実施している事業体における新型コロナウイルス対応ガイドライン」](#)

（公益社団法人日本環境教育フォーラム、自然体験活動推進協議会（CONE）、日本アウトドアネットワーク（JON）、の3団体により作成）を参考にしています。